ふれあいネットワーク

大蔵村 社協だより

※社協とは社会福祉協議会の略称です。

第 1 号

令和４年３月18日

発 行

社会福祉法人
大蔵村社会福祉協議会
大蔵村大字清水2528番地（大蔵村役場内）
☎0233-75-2111〈内線273〉

福祉と文化の花開く ゆたかなる里 大蔵村を築きます

会長あいさつ

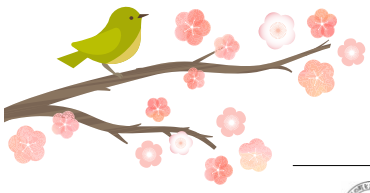
社会福祉法人 大蔵村社会福祉協議会
会長　小屋　重紀

厳しい冬の季節が過ぎ、大蔵村にもそこかしこに早春の息吹を感じる頃となりました。

地域の皆さまには、大蔵村社会福祉協議会の活動に、日々ご協力とご支援を賜りますことに対し、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、さまざまな社会活動の延期・中止・自粛がございました。未だ収束の見えない中、マスク着用や手指消毒など感染防止に努め、少しずつではありますが、以前のような地域福祉活動を取り戻しつつあります。

大蔵村は山形県で人口規模が一番小さな村であります。他市町村社協では出来ることも、本会では出来ないことがあるかもしれません。しかしながら顔の見える関係を住民の皆さまと築き、この住み慣れた大蔵村でより一層の地域福祉の推進に向け、事業を展開してまいります。今後とも皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

赤い羽根共同募金

― 令和３年度全国助成共通テーマ ―

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」

赤い羽根共同募金は、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まって以来広く定着し、多くの皆さまのご理解とご協力のもと、毎年10月から12月にかけて「赤い羽根共同募金運動」と「歳末たすけあい募金運動」を行い、地域福祉の推進のために大きな役割を果たしています。

「赤い羽根共同募金運動」は、高齢者、障がい者、児童などへの地域の福祉活動を支援するための運動です。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災者支援にも役立っています。

「歳末たすけあい募金運動」は、昭和34年から共同募金運動の一環として行われ、支援を必要とする方々が新たな年を迎える時期に、安心した明るい暮らしができるように長く見舞金の贈呈がなされています。

村民皆さまのあたたかい思いやりの心に感謝いたしますとともに、令和3年度募金実績の報告を掲載いたします。

歳末たすけあい募金運動実績

【募金内訳】

○戸別募金 …… 403,500円

【配分内訳】

○在宅重度障がい者 …… 77,000円
○要支援高齢者 …… 173,000円
○低所得者・要保護世帯…… 140,000円
○最上管内福祉施設 …… 13,000円
○事務費 …… 500円

赤い羽根共同募金運動実績

お寄せいただきました募金は、いったん山形県共同募金会へ送金し、その後約50％が翌年福祉事業費として大蔵村社協へ還元される仕組みです。

【募金内訳】

○戸別募金 …… 573,000円
○役場庁舎内募金 …… 11,259円
合計　584,259円

皆さまのご協力
ありがとうございました

赤い羽根共同募金配分金事業

ふくしって
なんだろう？

知的・発達障がい疑似体験

村放課後児童クラブを対象に、知的・発達障害の理解啓発キャラバン隊「花笠ほーぷ隊」の皆さんを講師に招き、障がいの理解促進を目的とした知的・発達障がい疑似体験出前講座を行いました。

絵を見て困っている人を探したり、「ちょっと」や「ちゃんと」を絵にしてみたり。知的・発達障がいを特別なことと見ないで「100人いれば100通り、いろんな見方があってもいいんだよね」と、相手を思いやる気持ちを学びました。

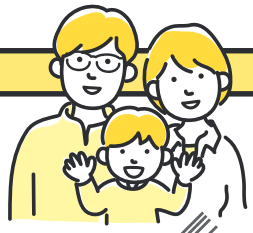
やまどりの会（一人暮らし高齢者のつどい）

村内の一人暮らし高齢者を対象に、大蔵村民生児童委員協議会の協力のもと、やまどりの会を肘折いでゆ館にて毎年開催しています。

今回は、健康福祉課の保健師より冬期間の過ごし方として、テレビを見ながら出来るちょっとした運動や、栄養面を考えた食事メニューなどを教わりました。懇談の時間では、参加者同士の「久しぶり、元気しったが？」などの声が聞かれ、久しぶりの再会を楽しんでいる様子でした。

このほかにも村内の福祉活動に役立たせていただいています

令和3年度 実施事業



高齢者の目線に立って
高齢者等疑似体験

大蔵小学校6年生を対象に、山形県社会福祉協議会の協力のもと高齢者等疑似体験を行いました。目の見えにくさ、耳の聞こえづらさ、身体の動きづらさなどを体験し、児童からは「小さな声でしゃべったら聞こえないとわかった。」「毎日の生活がとても大変だと気付いた。」など、体験してみての学びの声が聞かれました。

ご希望のある団体は、高齢者等疑似体験講座を行うことが出来ますので、社協事務局にお声がけください。

生活にお困りの方へ
食料支援を行いました

株式会社ヨークベニマル様より、山形県に対して新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているため、子ども食堂や生活困窮者等への支援として、白米とインスタントラーメンの食料寄贈が行われ、県内各市町村社協に配分されました。大蔵村社協では歳末たすけあい募金運動の配分の折に、生活支援世帯へお配りしました。

大蔵村共催事業　ふれあいサロン対抗
第2回 冬季！ピンピンピック（介護予防大会）

冬期間の機能低下を予防するために、村内10か所のふれあいサロンにて、第2回冬季！ピンピンピックが開催されました。競技は4種目。全て山形県理学療法士会、山形県作業療法士会、山形県言語聴覚士会の協力のもと、実行委員会を重ねて考えられた競技です。当日は笑い声も高らかに、各サロン大盛況でした。

除雪ボランティアのご協力
ありがとうございました！

日々の除雪が困難な一人暮らし高齢者世帯などを対象に、除雪ボランティアを行いました。支援を受けた高齢者からは、「一人ではとても大変で、本当に助かりました。」との声をいただきました。

雪との暮らしは皆さん大変かと思いますが、ご協力いただきました住民の皆様、大蔵福祉会様に心よりお礼申し上げます。

社協からのお知らせ

大蔵村ひとり暮らし高齢者等の見守り事業のご案内

村内のひとり暮らし高齢者の皆さまが、安心していつもお変わりなく過ごしていただけるよう、村社協が山形ヤクルト販売株式会社へ委託し、安否確認を第一に「訪問・声がけ」を行っています。

◎対 象 者：村内在住のおおむね75歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみ世帯で、ほとんど自宅で過ごしている方
◎期　　間：令和4年4月中旬～12月中旬まで
◎配 達 日：週2回程度
（曜日は地区によって異なります）
◎配 達 物：ヤクルト400LT　1本（80ml）
◎申請方法：地区民生児童委員を通して申請になります

※費用負担はありません。
※安否確認が目的ですので、不在状況が長く続くなど、生活状態や環境等の変化により声がけが不要になった場合は、配達を取り止めますのでご了承ください。

令和4年度 ボランティア活動保険のご案内

地区・自治会で行う美化活動・保全活動・道路清掃や、ふれあいサロンの活動など、ボランティア活動中に「自分がケガをしたとき」「他人にケガをさせてしまったとき」「他人の物を壊してしまったとき」等の場合に備えて全国社会福祉協議会のボランティア活動保険があります。

◎補償期間：申込日から令和5年3月31日まで
◎保 険 料：基本プラン　350円／人
天災・地震補償プラン　500円／人
特定感染症重点プラン　550円／人

※補償内容等の詳しい内容は、社協事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 大蔵村社会福祉協議会

大蔵村大字清水2528番地（大蔵村役場内）
☎0233-75-2111〈内線273〉

村内福祉団体をご紹介します

大蔵村社会福祉協議会では、高齢者福祉支援活動、身体・知的障がい者福祉支援活動、戦没者遺家族援護福祉支援活動として4つの福祉団体の事務局を担っております。

りんどうクラブ大蔵（大蔵村老人クラブ連合会）

村内12クラブで活動しています。日々の健康づくり教室や、介護予防運動、地区の花植え・清掃など、各クラブ年間を通して活動しています。

今年度は村公式ワナゲ交流大会を各クラブ開催で行いました。

大蔵村遺族会

令和3年8月3日に大蔵村戦没者追悼式を執り行い、遺族会員が参列しました。戦後76年になりますが、今もなお戦争で亡くなられた家族を思う気持ちを大切に、平和への誓いを新たにしました。

このほかに、「大蔵村身体障害者福祉協会」と「大蔵村手をつなぐ育成会（知的障がいのある方、またはその家族の方の会）」が活動しています。コロナ禍で活動は自粛しておりますが、ご加入希望の方は社協事務局にご連絡ください。